

生き方を考える～My Life Plan～

令和元年7月2日

男子12人 女子15人

計27人

知識・技能/論理的思考力・判断力・表現力/主体性・積極性

本単元で育成する資質・能力

(資質・能力ルーブリックレベルⅣ)

I：【考え・基礎知識】

マナー講座を通して、事業所訪問や働く際のマナーやエチケット等、社会に出たときに必要な力について知る。

フォトストーリーという表現方法を知る。

C：【つながり】

収集した情報を整理・分析し、働くことに求めるものを考え、人はなぜ働くのか、まとめる。

E：【応用・ひろがり】

地域の方や他学年・保護者に「事業所の魅力」について伝え、その良さをアピールする。

1 単元について

生徒の実態

- 事前調査において「夢や目標を持っているか」は75%、「目標は叶うか」は80%、「今、働いているか」は27%、「将来 働くという実感はあるか」81%が肯定的回答であった。夢を実現するための努力の有無は別として、夢や目標に対して肯定的であり、「働くこと」に対して一定程度の意識はある。しかし、目標達成のための手順や必要な資格等、具体的な知識は乏しい。
- 基礎・基本定着状況調査の生徒質問紙において、「課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしている」の肯定的回答は32.7%で低く、課題解決への主体性に課題がある。
- 基礎・基本定着状況調査の生徒質問紙において、「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」の肯定的回答は61.5%にとどまっており、主体性ととも情報の整理・表現にも課題が見える。

目標を実現するに

ふさわしい探究課題

○職場体験学習

・さまざまな立場や年齢の方とともに過ごし、働くことで、いろいろな人の働く姿や考えを知ることができる。また、仕事に対するさまざまなアプローチの仕方を学ぶことができる。

→マナー講座

→事前訪問

育成したい資質・能力と目標

- ①課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。

【知識・技能 資質・能力ルーブリックレベルⅤ】

- ②目標を明確にし、課題の解決に向けて見通しをもって計画的に行動することができる。

【主体性・積極性 資質・能力ルーブリックレベルⅤ】

- ③多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、論理の展開の仕方や表現の仕方などを工夫して、効果的に表現することができる。

【論理的思考力・判断力・表現力 資質・能力ルーブリックレベルⅤ】

指導のポイント

- ① 職場体験学習をするにあたって、自分がお世話になる各事業所の仕事内容や資格等を調べ、情報を収集させる。また、成果物の作成にあたっては、国語科と連携し、効果的な表現方法を体得させ、活用させる。
- ② 長年継続されてきた「職場体験学習」を通して課題設定するので、生徒たちにとってはイメージしやすく、見通しが立ちやすいので、計画的な行動ができやすい。また、実際に自分が校外で活動するという明確なものがあるので、より現実的な切迫感をもって取り組むことができる。マナー講座や事前訪問・履歴書作成など、さまざまな場面を想定しながら主体的な取り組みを仕込む。
- ③ あらゆる場面での情報収集とその比較を繰り返すことで、共通点や相違点などに着目し、視野の拡大を図る。また、国語科との連携により、表現方法を工夫しながら「事業所の広報担当者」として事業所の魅力を効果的に発信させる。短い文言に端的にまとめることで思考を整理させる。

2 単元の計画と評価規準（全 45 時間）

次	時	学 習 内 容	資質・能力の評価規準（評価方法）	※他教科との関連
第一次	1	情報の収集 1 ○「働くこと」について考える。 ・ 事前調査「あなたは今働いているか」「将来、働くという実感があるか」 ・ 各種の適正検査→「自分の適性」を知る。	私にはこんな可能性があったのか。まるで予想していなかった職業が出てきたなあ。少し考えてみようかなあ。 ○インターネットで何種類かの職業適正検査を行い、自分の可能性に気づいている。 【主体性・積極性】 （ワークシート、観察）	学活 「経済」が絶対1位だと思っていたけれど、そうでもない人もいるんだなあ。
	2	○「なぜ人は働くのか」を考える。 ・ 働くことに求めるものは何か、考える。 ・ 事前調査の結果から「働く」という認識について考える。 ・ 仲間の意見と比較し、視野を広げる。 【本時】	○働くことに求めるものについて自分なりの考えをもち、優先順位をつけながら、仲間と意見を交流し、視野を広げている。 【論理的思考力・判断力・表現力】 （ワークシート・観察）	
	3	課題発見・設定 ○将来 自分は何のために働くのか、自分なりの生き方を考える。 ・ 働くことに求めるものの結果と自分の思いを比較しながら再考する。	○仲間の意見と自分の意見を比較しながら再考し、自分なりの生き方について考えている。 【論理的思考力・判断力・表現力】 （ワークシート・観察）	私は「経済」も大事だけれど、それよりも自分の「個性」を大切にしながら生きていきたい。
第二次	4	情報の収集 2 ○事業所の選択・及び決定→課題追究計画の作成 ・ 事業所の仕事内容や必要なことを予想する。	○体験先での仕事内容を見通して、どんな力が必要とされるか考えている。 【知識・技能】 （ワークシート、観察）	私は保育所を希望したけれど、きっと子どもたちとのコミュニケーション力が必要だろう。
	5	○事前訪問計画の作成		
	6	・ 事業所について学習し、確認事項や質問事項を整理する。	○本物に触れることでより切実感を持って学習に臨み、意欲的に取り組んでいる。 【主体性・積極性】 （ワークシート、観察）	
	7	・ 履歴書及び決意書の作成 ・ マナー講座の実施	私が思っていた仕事だけではなかったんだな。こんなことまでしているとは思わなかった。知らないことが多い。 ○仕事内容の予想と実際の業務との比較によるズレを発見し、その理由を考えることで、自分の事業所に対する一面的な見方に気づいている。また、それをもとに課題を修正している。 【論理的思考力・判断力・表現力】 （ワークシート、観察）	実際にマナー講座を体験すると、自分がホテルで働いているような気がして、緊張したな。
	8	整理・分析 1 ○体験を通して学習すべきことを整理する。 ・ 仕事内容や約束事の整理 →予想との比較 →違いが生じた理由 ・ 追究課題の修正	事業所の方々は皆、笑顔で働いている。お客様第一ですべての仕事がなされているようだ。お客様の笑顔や感謝の言葉がエネルギーになっているなあ。 ○実際に働くことや事業所の方々とのふれあいの中で新たに覚えてきたこと、感じたことや発見したことから再考している。また、そこから事業所の魅力を捉えている。 【主体性・積極性】 （日誌、観察）	国語科 「あなたは広報担当者～フォトストーリーを作って紹介しよう～」（「小さな労働者」）事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫して書くことができる。（書くことウ）
	9 ～ 39	情報の収集 3 ○自分の体験や働く人の姿から、なぜ人は働くのか考える。 ・ 職場の魅力を探る。		
	40 41	まとめ・創造・表現 1 ○体験のまとめをする。 ・ 事業所の魅力を伝えるポスターとスライドショーを作成する。	○体験を通して感じた事業所の魅力を端的に表現している。 【論理的思考力・判断力・表現力】 （成果物、ワークシート、観察）	

42	・学年内でスライドショーの発表会を行い、視野を広げる。		
43	振り返り		
44	○なぜ人は働くのか、働くことに求めるものについて再考する。	○体験から考えたことや仲間の発表をもとにもう一度「働くこと」について問い直している。 【主体性・積極性】（ワークシート、観察）	
45	実行 ○文化活動発表会にて「事業所の魅力」を発信する。 ○各事業所にポスターを持参し、地域の方々にその魅力を発信する。	○伝えたいことをわかりやすく効果的に発表している。【論理的思考力・判断力・表現力】 （成果物・ワークシート、観察）	
単元後	課題の設定 ○振り返りや地域の方からの感想を基に次の課題を設定する。		

3 本時の学習（本時 2/45）

情報の収集 1

（1）本時の目標

- 「働くこと」に求めるものを順位付けし、仲間と比較することで共通点や差異点を整理し、視野を広げ、「人はなぜ働くのか」という問いにじぶんりの考えを持つことができる。
【資質・能力／論理的思考力・判断力・表現力】

（2）本時の学習展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断される児童への手立て	評価規準（評価方法）
課題の設定	1 事前調査の結果を予想・確認し、本時のめあてを知る。	◇ 前時に行った調査の結果について学年の動向を予想させ、学習に対する関心を高める。 いろいろな意見を聞きながら、「なぜ、人は働くのか」考えよう。	
情報の収集	2 「働くこと」で求めるものについて考える。 ・優先順位第5位までを選ぶ。 ・選んだ理由を文章にする。	◇求める優先順位を第5位までつけさせることで、価値観を整理させる。 ◇カードを用いて順位付けさせる。 ◆順位付けが難しい場合は、二つの項目を比べて考えることから始めさせる。 ◇理由を文章化することで、自分の考えを認識させる。	
	3 結果を交流し、視野を広げる。 ・班→全体	◇各自の選択を理由をつけて発表し、交流することで意見の相違に気づき、視野を広げさせる。 ◇仲間の意見を聞いて、考え直したことや気づいたことをメモさせる。 ◆仲間の選択を聞いて、納得したものはそのまま取り入れさせる。	
整理・分析	4 「なぜ、人は働くのか」考える。	◇当初選んだ優先順位第5位までの項目や、仲間の意見を参考に再考させる。 生活するお金を稼ぐために働くのかや、やはり一番の理由だ。そして、自分が何かの役にたつから働くのではないだろうか。役にたてば、そこに自分の存在価値が生まれるから。 ◆優先順位をもう一度考えさせる。	○順位付けを行うことで価値観を整理し、仲間との交流によって視野を広げ、考察し、自分の考えを表現している。 （ワークシート・観察）

振り返り	5 本時を振り返り、次時につなげる。	◇交流後の「気づき」や再考した結果に着目し、振り返らせる。	
	【振り返りの例】 働く理由はなんといってもお金だと思っていたけれど、5位までの優先順位を考えることで見方が少し変わった。また、仲間の意見を聞くことで思いがけないものに出会えた。 (B基準) 働く理由は皆お金が一番だと思っていたけれど、班の人の意見や全体での交流を通して考えが変わった。理由は一つに絞ることはできないと思った。お金はもちろん大事だが、それ以外の達成感や有用感なども切り離せないものではないだろうか。そして、今はまだ実際に働いておらず想像での判断なので、実際に体験してみるとまた変わってくるのではないかと思うので探っていきたい。 (A基準)		

4 板書計画

生き方を考える～My Life Plan～ 論理的思考力・判断力・表現力 めあて いろいろな意見を聞きながら、「なぜ、人は働くのか」考えよう。 今、あなたは働いているか。 働くことに何を求めるか。

5 資質・能力ルーブリック

論理的思考力・判断力・表現力	
A	順位付けすることで自分自身の考えを整理し、仲間と比較することで共通点や差異点に気づき、視野を広げながら働くことの意義を考え、記述することができる。
B	順位付けすることで自分自身の考えを整理し、仲間と比較することで共通点や差異点に気づくことができる。

6 成果と課題

- 「働くことに求めること」の第1位は、事前は「経済」が53%で突出しており、全10項目のうち7項目が選ばれたが、事後は「経済」の数値が37%に下がった。そして、全8項目が選ばれ、1位に選んだ項目に少しばらつきが見られるようになった。中でも、「人間関係」は13%→24%に、「協働」は3%→11%に上がり、「経済」を選んだ生徒が最多であることに変わりはないが、他の価値観に重きを置く生徒が現れてきた。わずかばかりの変化ではあるが、体験学習やさまざまな経験を終えて、生徒の視野が広がったと考える。
- 「職場体験学習」を実施するにあたり、準備するべきことは何か、自分たちで考え、「マナー講座」を企画することができた。また、どのような形で感謝の意を示すかも考え、「手紙」や「ポスター」を企画した。何の変哲もない取組ではあるが、生徒が見通しをもって計画することができたことは成果である。
- 美術科、国語科との連携、タブレットの活用により、絵手紙・フォトストーリー・ポスター・スライドショーによる発信ができた。文言を絞ることで思考を整理することができ、より吟味した表現ができた。
- 事業所の方々がどのような姿勢で働いておられるか、今まで気付かなかったことに気付いた生徒が多かった。

- 「なぜ働くのか」「働くことに何を求めるのか」という点について十分なインタビューができなかった。対話することを意図的に仕組むべきであった。
- 新たな面の発見に終わり，それが自分の生き方を考えるところまでには至らなかった。